遊YOU米 たわら新聞 第29号

遊佐町共同開発米部会広報部編集　平成21年8月

孫 田んぼ日誌 減農薬と簡単に口にはするけれど…

「百姓は草との戦いだ」と言われるが如く、今年も遊佐の農家は田んぼで戦っております。除草剤の使用は１回、指定された薬剤となっている遊 you 米。結果、決まった雑草が残り、薬剤に抵抗性をもった雑草が田んぼに生える様になります。手動の除草機や手取りで対応していますが…体力にも限界があり、腰や手首を痛める事も。交流会で出会った生活クラブ組合員さんの顔を思い出すと「やっぱり安心安全なお米を届けたい」と思い、田んぼに草取りに向かいます。作り手と食べ手の顔が見える関係があるからこそです。

ウミネコもやってくる田んぼ

草刈り

畦畔（田んぼを囲うあぜ）と農道の草を刈る作業です。年間3回程度の回数だったのが、遊佐町全体で減農薬化が進んでからは4～5回に作業が増えてきました。田んぼの畦畔で病害虫が発生しないようにするためです。平野部と山間部とでは作業形態が異なります。田んぼ間の高低差が小さい平野部では自走機械の草刈り機でほぼ完了ですが、高低差が大きい山間部では段差間の法面を手動で刈ります。夏日に斜面でふんばりながらのこの作業は「やった方しか分らない」重労働です。　女性の方も同じ作業をがんばっています！

遊you米は素性がわかるお米です

田んぼ巡回 春作業の栽培履歴を提出し、その後作成された田んぼの地図と現場の田んぼを巡回します。部会員と地区の代表者、認証団体の三人一組で6/23～24 に行われました。秋の収穫前にもう一度栽培履歴の提出を行い、栽培基準を満たしているかチェックします。農家は作業日誌を片手に記入していくのですが、細かい計算や記入方法に四苦八苦します。　苦笑

「Around 30 交流」

現在、遊佐の農業後継者は確実に増えています。ですが、職場が田んぼやハウスの為に異性と交流する機会が少ない…　ちょっとさみしいかな？生活クラブとの交流会でこんな話をした時に、「うちの娘は農業したいからちょうどいいかもよ」とありがたいお言葉を頂きました。遊佐の自然を満喫しながら、カヌー･バーベキュー･ハウスでの収穫作業等を行い、遊佐の農業青年と交流会を行いたいと考えております（時期や内容は未定）。情報収集を行い、しっかりとした企画を実行するために、生活クラブ組合員皆様、参加希望者からのご意見を頂きたいのです。宜しくお願いします。ハガキにブロック名･氏名･住所･電話番号を書いて送って下さい。抽選で遊佐の特産品を送らせて頂きます。9/10締切

500人のメッセージ

自分の家は今のところ水稲がメインですが、チャンスがあればいろいろなことに挑戦したいと思っています。今だけでなく先の見える農家を心がけてやっていきたいと思います。よろしくお願いします(*^^)v

三浦 広和 28歳
（千本柳班）

〒999-8301　山形県飽海郡遊佐町遊佐広表6-1
遊佐町共同開発米部会事務局（JA庄内みどり遊佐営農課内）
Tel.0234-72-3234　　E-mail.yuyou@ja.midorinet.or.jp
URL.http://www.midorinet.or.jp/yuyou/